

特集

Catch you!!! 寄生虫

月刊『救急医学』から特集企画で寄生虫を取り上げたいと声をかけられたときには、正直驚きました。本誌読者の救急医の先生方が寄生虫感染症に遭遇する機会は、決して多くないでしょう。その一方で、命にかかわり見逃してはならないマラリアや、急性腹症として比較的多く遭遇するアニサキス症など、救急医にも必ず知っておいてほしい寄生虫感染症がたしかに存在します。また、緊急性はなくとも、寄生虫感染症の判断・診断が見つからないことで不要な検査や治療が行われれば、それは患者の不利益につながり得ます。そして、最近の寄生虫感染症は、患者数は少なくとも多彩な様相を呈しており、救急医療の現場でも鑑別にあげなければならない場面がきっとあるはずです。

このようなことから、今号では「Catch you!!! 寄生虫」と題し、「Ⅰ 寄生虫感染症のイロハ」「Ⅱ 救急症候からアプローチする寄生虫感染症」「Ⅲ 救急医もおさえておきたい寄生虫感染症」という章立てで、救急医の先生方にも寄生虫感染症を“Catch!!!”してもらおうための特集を企画しました。

まずⅠ章では、最近の寄生虫感染症の特徴とその診断に不可欠な検査を取り上げ、各分野のエキスパートの先生方から基本的事項に加えて、どこでどんな検査ができるかなど現場が知りたいことを含めて解説いただきました。Ⅱ章では、救急外来で遭遇する可能性が比較的高く、そして絶対に見逃したくない寄生虫感染症について、Ⅲ章では、寄生虫感染症を容易に想起できるであろう「虫が出てきた」ケースと「クリーピング・ディーズ」に加えて、寄生虫を想起するのが難しく、かつ他疾患との鑑別が必要なものという観点から、肺・肝・中枢神経系の臓器別に重要と思われる寄生虫感染症を取り上げました。とくにⅡ章・Ⅲ章は症例や画像も交えながら、鑑別診断のヒントとなる特徴的な症候・所見や、初期対応の要点を解説する、実践的な内容となっています。

救急領域の雑誌・書籍で、寄生虫感染症をこれだけしっかりと解説する機会は滅多にないものと思われます。この領域を専門とする執筆者の先生方の熱い想いと深い知識を受け取っていただき、日々の診療に、いつかの機会に、活かしていただければ幸いです。